

2026年度 第2回社会学研究科委員会 議事要旨 (案)

I 議事要旨の確認

- 1 2026年度第1回社会学研究科委員会議事要旨の確認
○議事要旨を確認した。

II 審議事項

- 1 5年一貫教育プログラムの単位算入について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
- 2 カリキュラム変更について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
- 3 一橋大学大学院社会学研究科規則・細則の一部改正について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
- 4 2027年度春期入試日程について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
○なお、修士論文提出期日を遅らせることの可否を問う意見が出されたものの、日程的に難しい旨、研究科長より説明を行った。
- 5 2027年度秋期・学生募集要項（修士課程）について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
- 6 その他
なし

III 意見聴取（サウンディング）

- 1 『一橋社会科学』投稿規定の改正について
○太田教授より、査読の再投稿に期限（1年）を設けたい旨意見があり、意見聴取を行った。
○投稿中に投稿者の身分が変更となった場合の投稿資格喪失の有無について質問があったが、編集委員会の判断で資格を認める運用をするとの回答があった。期限の設定について反対意見はなく、今後編集委員会で改正を決定する。

IV 報告事項

- 1 学位論文計画書の審査状況について
○研究科長から、資料に基づき報告があった。
- 2 大学院入試説明会（夏）の実施について
○井川大学院教育専門委員から口頭で報告があった。

- 3 日本経済新聞社単位認定インターンシップの今後について
- 石居教授から、口頭で報告があった。
 - 日本経済新聞社の事情により今年度より実施しないこととなったため、2023年に締結した覚書を廃止する。なおインターンシップ科目は廃止しない。
- 4 その他
- 一橋ジャーナル執筆申込みについて
 - 坂教授から資料に基づき報告があった。